

わたしたちができること ～助けられる側から助ける側へ～

国土交通省 近畿地方整備局
豊岡河川国道事務所

(資料提供・編集協力) 豊岡市

もし、大雨がずーっと降り続いていたら…

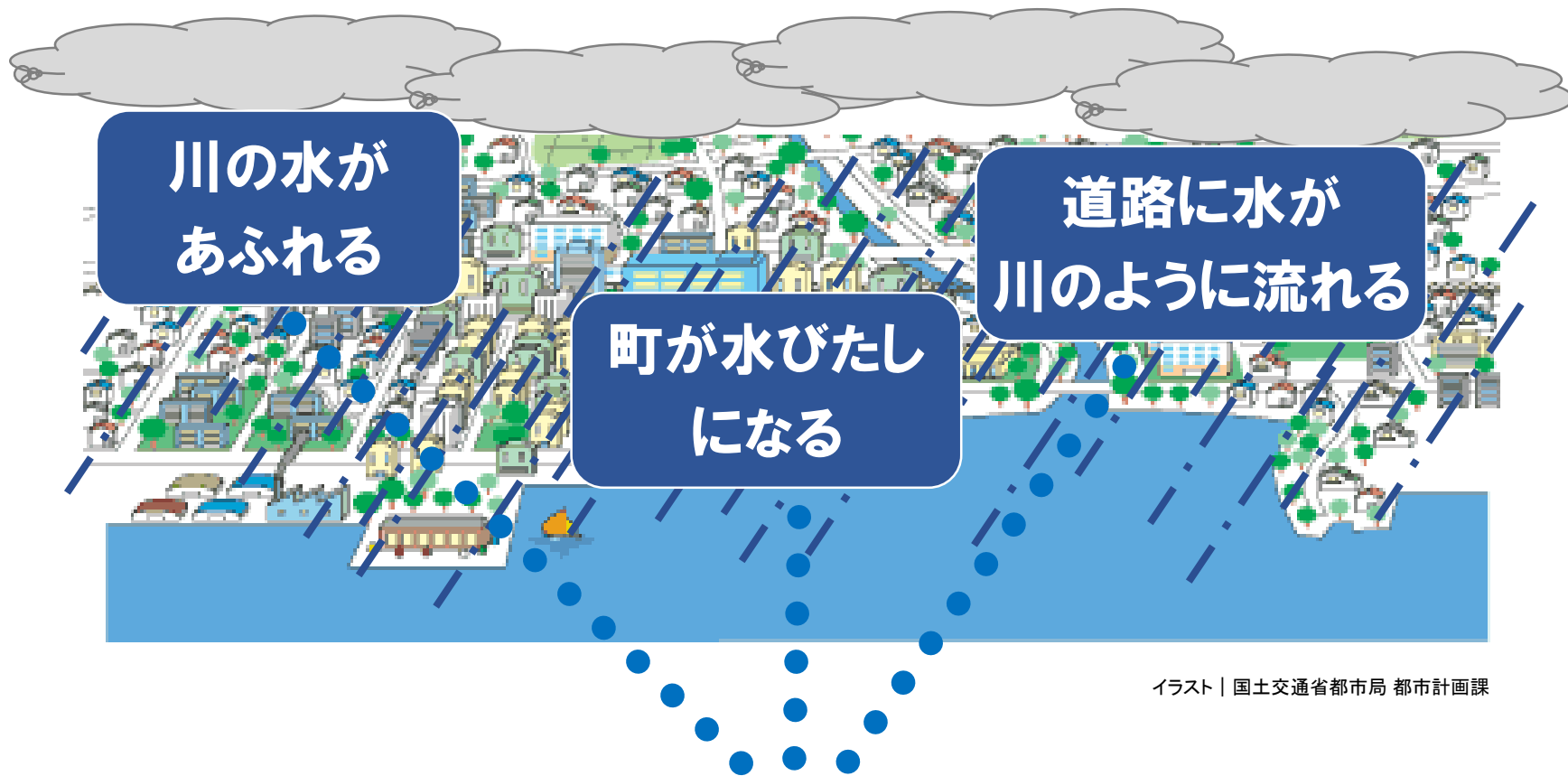


イラスト | 国土交通省都市局 都市計画課

すい がい
水 害

といいます

すい がい
水 害

ひ なん
早めの避難
が大事!!



平成16年(2004年)台風23号



ひ なん
みなさんは避難できますか？

「自分の命は自分で守る」

じ じょ

自助



「みんなで助け合う」

きょう じょ

共助



今日は

じ じょ きょう じょ
“自助と共助”

について学習しましょう。

Q

次のとき、

あなたはどうしますか？

理由も考えましょう

あなたは日曜日の昼間、家族と^{いっしょ}一緒にいます。



台風が近づいて、大雨が降っています。



A

あなたと家族は避難せず家で
過ごすことにしました



すると...



足腰あしこしの悪いおじいちゃんとおばあちゃんひなんが雨の中、歩いて避難している

時間がかかりそう...

B

とよ おか 豊岡市に「^{けい かい}警戒レベル4 ^{ひ なん し じ}避難指示」が
発令され、^{ひ なん}避難場所も開いたため、
^{ひ なん}あなたと家族は避難することになりました。



^{ひなん}避難場所の○△小学校を開設しました



川が近くにあるけど
^{だい じょう ぶ}大丈夫かな？

おとなりの人は
^{ひ なん}避難せず家にいるみたいだ



あしこし
足腰の悪いおじいちゃんとおばあちゃんが雨の中、歩いて避難している



おとなりの人は
ひなん
避難していないようだ

助けたい
手伝いたい

声をかけたい

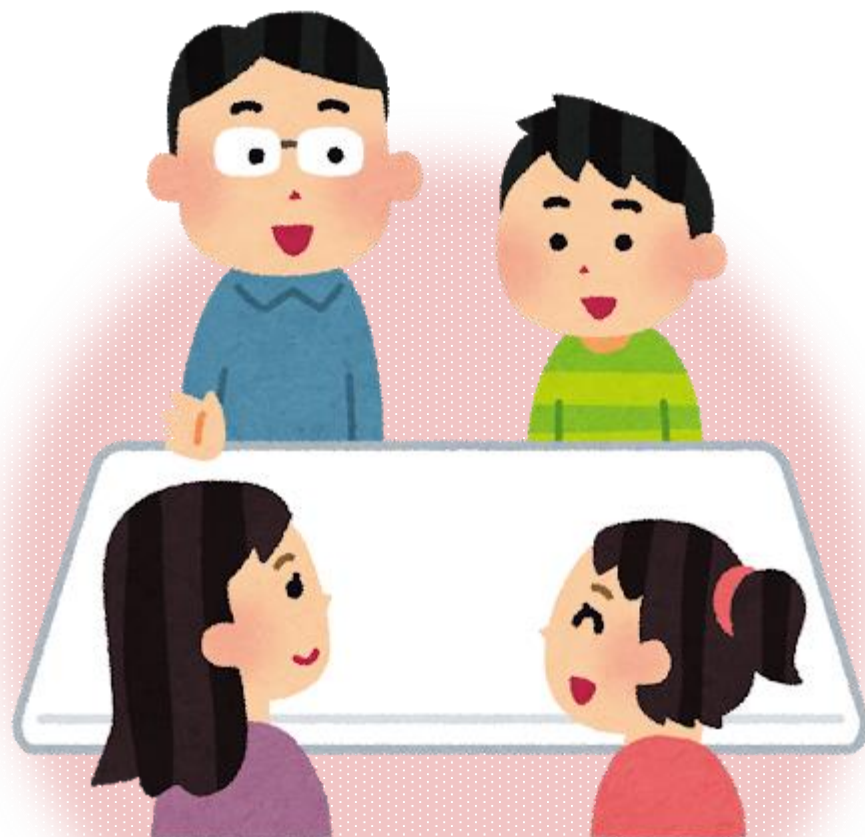
一人じゃムリかも

声かけづらいな



むずか

小学生のみんなだけでは難しいこともある



ちいき
家族や地域の大人たちと協力すれば
できることもあると思います

さいがい 災害が**起きる前**

自分たちに
できることを考え
チャレンジしてみる



「助ける側」になれる

さいがい 災害が**起きているとき**

力が足りないかも



声かけづらいな



むずか
難しいかもしれない

今日のまとめ



ワークシートに今日の学習で
わかったことや思ったことを書きましょう

今日のふりかえり

「自分の命は自分で守る」

じ じょ
自助

大

事

な

こ

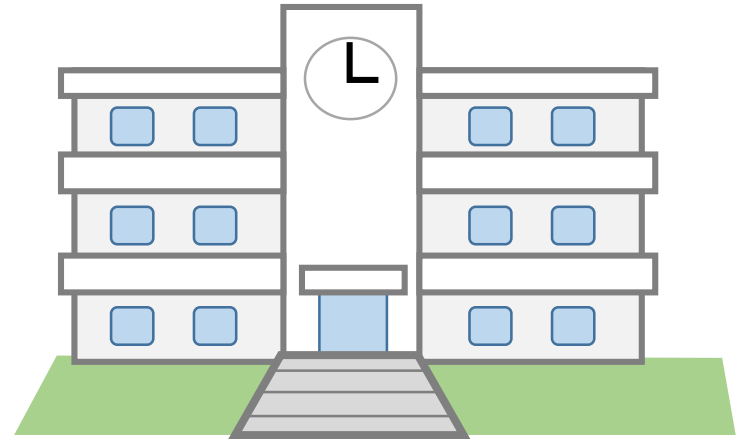
と

1



さいがい
災害が起こる前に

安全な場所へ避難する



大

事

な

こ

と

2



まわりの大人と協力すれば

できることがあるかもしれない

さいがい

災害の前なら

できることがあるかもしれない

今日の宿題

ふ だん

普段から

「助ける側」になれること
がないか考えてみましょう

さいがい
災害が起こる前



ワークシートに書きましょう

学習したことを

がくしゅう

復習しておきましょう。



すい がい
水 害

から命を守るための本

①

大雨あめが降ったときに
身を守る行動“避難”ひなんに
ついて知ろう

②

わたしたちができること
～助けられる側から
助ける側へ～

年 組 名前

わたしたちができること
～助けられる側から助ける側へ～

お わ り

じ じょ きょう じょ

自助と共助について

____年 ____組 ____番 名前(_____)

1. 次のときあなたはどうしますか？

『あなたは日曜日の昼間、家族と一緒いっしょにいます。

台風が近づいて、大雨が降ふっています』

A: あなたと家族は避難ひなんせず家で過すごすことにしました

▶ 足腰あしこしの悪いお年寄りとしよが雨の中、歩いて避難ひなんしている

B: 豊岡市とよおかに「警戒レベル4 避難指示けいかい ひなん しじ」が発令され、避難場所ひなんも開いたため、あなたと家族は避難ひなんすることにしました

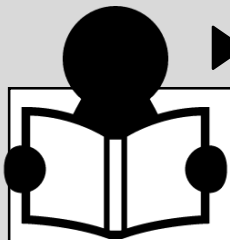
▶ おとなりの人は避難ひなんしていないようだ

問2. 今日の学習で、わかったこと・思ったこと

今日の宿題

さいがい
災害が起こる前

▶ ふだん
普段の生活の中で「助ける側」になれること



学習のねらい	自助と共助について知る	
	Step1 : 水害時の避難について確認する (復習) Step2 : 災害時にはいろいろな状況があることを知る Step3 : 助けられる側から助ける側へなれることを知り、何ができるか考える	
必要物品・資料	<input type="checkbox"/> 【高学年】説明用パワーポイント② <input type="checkbox"/> 【高学年】ワークシート②	<input type="checkbox"/> プロジェクター・スクリーン <input type="checkbox"/> レーザーポインター (もしくは差し棒)

学習活動	ppt	発問例と予想される生徒の反応例 発問・指示(●) 予想される反応(・)	指導上の留意点 支援(◆) 評価(☆)
学習の題目 1分	1		
導入 計 10分			
1. 水害からの避難の難しさを踏まえた上で学習のねらいを確認			
1-① 水害からの避難の難しさを知る	2~3 4	● 水害(大雨の災害)について、これまで勉強してきたなかで、「早めの避難が大事」と学んできたと思います。 ● みんなは「避難」できますか? ・ できる! ・ 自信ない。	◆ 水害の事象について確認しながらすすめる。 ◆ 児童(数名程度)を指して、答えさせる。
1-② 学習のねらいを伝える	5 6	● 避難できる自信がある人も、ない人もいます。早めの避難をして自分の命を自分で守ることを「自助」といいます。また、地域の人たちと協力し、助け合いながら災害を乗り越えることを「共助」といいます。 ● 今日は、「“自助と共助”について」勉強します。	
展開 計 25分			
2. 水害からの逃げ方について学ぶ			
2-① 助ける側になることの難しさを知る	7 8 ~11	<div style="background-color: #333333; color: white; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">小学校高学年②【ワークシート】を配付</div> ● これから、ある状況を出します。それぞれの状況で、どうするかを考えてみましょう。何故そうするか理由も考えましょう。 ● 「日曜日の昼間、家族と一緒にいます。台風が近づいて、大雨が降っています」 A : あなたと家族は避難せず家で過ごすことにしました。すると、近所の足腰の悪いお年寄りが雨の中歩いて避難しています。 B : 豊岡市に「警戒レベル4 避難指示」が発令され避難場所も設置されたため、避難することにしました。お隣の人は避難せず家にいるようです。 ● 近くの人と見せ合ってみよう。他の人の考えと違うところはあるかな?理由も比べてみましょう。 ● 自分の考えと、友達の考えを比べてみて、どうだったかな? ・ 同じところもあれば、違うところもあった。 ・ いろんな考えの人がいた。	◆ 個人意見をワークシートに記入するように促す。 ☆ 自分の考えを示すことができる 思考力、判断力、表現力 ◆ A.Bを順番に考えさせる ◆ 友達とワークシートを見せ合せて、それぞれの避難に対する考えを比べることを促す。 ☆ 個人それぞれの状況が異なることや、避難に対する考えも異なることに気づける。 ◆ 児童(数名程度)を指して、答えてもらう
Point: アクティブラーニング 課題解決学習活動(疑似体験活動) 避難判断の体験をとおして、状況に応じて判断が異なることの理解を促す。			

学習活動	ppt	発問例と予想される生徒の反応例 発問・指示(●) 予想される反応(・)	指導上の留意点 支援(◆) 評価(☆)
3. 助けられる側から助ける側へ			
3-① 「助ける側」になりたいと思ったことを称賛する	12～13	<ul style="list-style-type: none"> ● 災害時の状況を考えたなかで「助けたい」、「手伝いたい」と思った人がいたと思います。その気持ちは素晴らしいです。 ● だけど、小学校高学年のみんな一人だけでは、災害時に「助ける側」になるのは、まだ難しいかもしれません。でも、家族や地域の大人たちと協力すればできることもあると思います。 	☆ 「助ける側になりたい」、「手伝いたい」という気持ちを評価する。 人間性
3-② 小学生でも「助ける側」になれることを考える	14	● また、『災害が起きているとき』に「助ける側」になることが難しいなら、『災害が起こる前の今(平常時)』なら、小学生のみんなも「助ける側」になれると思っています。	◆ 災害時ではなく、平常時(災害の前)の段階なら、小学生も「助ける側」になれること・期待を示す。
まとめ 計 9 分			
4. ふりかえり			
4-① ワークシート「問2」へ記入	15	<ul style="list-style-type: none"> ● 今日の学習の感想を書きましょう。 <div style="border: 1px dashed red; padding: 5px; margin-top: 5px;"> Point: アクティブラーニング レポート活動 自分の思ったこと、考えたことをまとめることで、理解が深まる。 </div>	◆ 個人意見をワークシートに記入するように促す。
		<ul style="list-style-type: none"> ● ワークシートに書いた結果を発表してください。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 一人では助けたくても難しいことがあると思った。 ・ 日頃から、防災・避難を考えるよう、周りのみんなに教えてあげたい。 	☆ 状況に応じてどう行動するかを考えることができたか。
4-② 授業者からのまとめ	16 17 18～20	<ul style="list-style-type: none"> ● まずは授業の最初に話したように災害が起こる前に安全な場所へ避難して自分の命を守る自助の行動が大切です。 ● また、災害時に助けたい気持ちをもってくれましたが、自分たちだけでは災害時に助けることは難しくても、まわりの大人と協力すればできることがあるかもしれません。そして、災害が起こる前なら小学生のみんなにもできることがあるかもしれません。普段から考え、チャレンジしてみましょう。 ● 今日の宿題は小学生であっても、普段から「助ける側」になれることはないかについてみんなのアイデアをワークシートに書いてきてください。 ● 「水害」の資料で、学習したことを復習しましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 「状況によって避難が異なる」、「早めの避難が重要」を最後に改めておさえる。 ◆ 人を助けたいという気持ちを評価し、災害前であれば自分たちも助ける側になれることに気付かせ、具体的に考えさせる。 思考力、判断力、表現力等
授業終了			